

～冬の交通事故防止のために～

○冬道での運転は心と時間にゆとりを持って、事前に最新の気象情報や道路情報などを十分確認し、吹雪や視界不良が予想される場合は、無理をせずに外出はお控えください。

○冬場では夏場よりも、停止距離が伸びるため、車間距離をしっかりと保ち、対向車線はみ出しや路外逸脱事故とならないために、カーブ手前では十分にスピードを落としましょう。

○日陰や橋の上、トンネルの出入り口は、日中でも凍結していることがあります。ブラックアイスバーン等の凍結路面では、急ハンドル・急ブレーキを行わないよう注意しましょう。

○走行中は車間距離を十分にとって、天候・路面状況に合った運転に心がけて、交通事故防止に努めましょう。

【万が一に備えて】

- ・冬期間は天候が急変し、吹雪で車が立ち往生する危険性もあるので、防寒具、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。
- ・走行中、風雪が激しいときは、道の駅やコンビニなどで休憩し、携帯電話、ラジオなどで気象情報や道路情報を確認して、無理のない運転を心がけましょう。
- ・大雪や吹きだまりなどで車が立ち往生したときは、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにし、ロードサービスや近くの商店、人家などに救助を依頼しましょう。
- ・車内で救助を待つときは、地吹雪などの状況により車の排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす可能性がありますので、できる限りエンジンを停止し、防寒着や毛布などで体温の低下を防ぎましょう。新聞紙なども体温の低下防止に効果がありますので、車内にある場合は利用しましょう。また、やむを得ずエンジンをかけるときは、マフラー付近が雪に埋まらないように定期的に除雪し、風下の窓を少しだけ開けて換気を行いましょう。



pixta.jp - 76003413



その先の、道へ。北海道



北海道宗谷総合振興局

稚内建設管理部用地管理室維持管理課・保健環境部環境生活課

